



今年の勤労感謝の日は昨年と違って単にお祝いするという事だけにはなりません。天皇陛下の体調がすぐれず、入院されたままであり、その健康回復を祈願するという特別な思いも強く持つからです。



皇居の中にある水田で稲の収穫をされた時には、このような元気な姿が宮内庁より発表されていました。天皇陛下におかれましては今年も東日本大震災の被災地を何度も訪れ、避難所ではお一人、お一人に膝を床に着きながら励まされておいででした。

そのお姿に感動した多くの国民が今陛下の健康回復を願っていると思います。出来ればこの秋の収穫感謝祭を元気なお姿の天皇陛下と共に御祝いしたかった訳ですが、それが今年ではかなわず非常に残念でなりません。

昨年の11月23日のブログ記事を読み返してみました。自分でも納得のいく記事だったので、ここでご紹介しておきます。昨年の記事をそのまま掲載すると、何か横着者と言われてしまいそうですが、もう一度読んで頂きたいと思います。その理由はその後に付け加えておきます。

.....

本日11月23日は勤労感謝の日で祝日ですが、また、この日は天皇家におきましては、一年の中でも非常に大切な新嘗祭の日でもあります。

天皇陛下が国民を代表なされて、自然の恵みに感謝して神にお祈りを捧げる日でもあります。

過去ログでこの大嘗祭（初めて天皇陛下として迎える新嘗祭）について書いていますので、ご覧ください。

http://blog.livedoor.jp/the_radical_right/archives/50028543.html

先般、「反体制運動への自覚と覚悟」という講演会が終わった後の懇親会での事でした。私としては本当に久しぶりの事でしたが、この場で非常に有意義な話がありました。「保守とは何か？」という質問が出ました。

私は日本人が守るべき価値は、それは天皇陛下であると答えました。酒の席でもあったので、簡単にしかその時は説明しませんでした。本日はそのことについて述べてみます。

本日は氏神様でもある、山王様にお参りして一年の農作物の収穫を神に感謝してお祈りします。氏神様に関してはウィキペディアには次のように書かれています。

氏神（うじがみ）は、日本において、同じ地域（集落）に住む人々が共同で祀る神道の神のこと。同じ氏神の周辺に住み、その神を信仰する者同土を氏子（うじこ）という。現在では、鎮守（ちんじゆ）・産土神（うぶすながみ）ともほぼ同じ意味で扱われることが多い。

今日の日本社会が存在するのはこの氏神様があるからです。この氏神信仰は日本古来の神道であり、それはまた天皇陛下の存在と大きく関わっています。

しかし、我々は日常生活で常に意識することがありません。それは余りにも身近な存在であるからです。日本人のDNAの中に生き続け、日本人の精神の奥深くに生きています。

それは従来の渡来の宗教の比ではありません。日本固有の民族宗教と言って良いでしょう。民族精神としての大和

魂を説く人がおりますが、その大和魂だってこの氏神様がなかったらあり得ませんでした。

日本人はいつの時代も戦いを前に、神社で勝利を祈りました。大東亜戦争に出征する若者は、この氏神様の前で部落の人達が集まる中で激励されて戦地に赴いたのです。

創価学会やキリスト教や他の新興宗教の中には、神道を否定する輩がいますが、そのような連中は日本民族とは言えません。神道を理解することなく、保守思想を語ることも本来はあり得ないことです。

さて、日本神道について短い文章になりますが、少々触れてみたいと思います。神道は自然保護の宗教です。ただし新興宗教のような類で括られる宗教とは根本的に違います。よって神道は宗教ではないという意見もありますが、ここは宗教（民族信仰の対象）として話を進めます。

日本という国家は古来より自然を大切にしてきました。それは「神社の森」がその出発点です。何処の神社も緑豊かな中にあります。日本の神とは古代からそのような自然の中に鎮座してきたのです。

古来より日本民族は自然には神が宿るとして、これを仰いで祭りをしてきました。自然を畏敬してきましたが、自然をいつくしみ自然を媒介してそこにおられる神と人が結ばれた信仰です。

その神を信仰するに日本民族の代表（余りにも簡潔な説明で申し訳ないが）が皇室であり天皇陛下の存在であると私自身は思ってきました。

自然とは金銭にはかえられない。

何よりも優先すべきはこの日本の自然を守ることです。これを守り通すことが、支那・朝鮮文化との違いであり、日本独自の歴史と文化です。

近代化が進んだ西欧ではナショナル・トラスト運動という市民運動が盛んですが、「鎮守の森」を守り通してきた日本人は、この運動の先駆者でもあります。

既に我々日本民族は2千年以上の歴史伝統と命脈を保って、この素晴らしい文化を守り抜いてきました。21世紀に生きる我々の使命とは更にこれを発展させ、日本神道を認めない外来思想を根絶することにあります。

.....

私は日本がTPPに参加して失うものは、経済的なものに留まらず、このような日本そのものも失ってしまうのではないかと危惧しています。保守派を任じながらTPPへの参加を是認するような人達は、その点をどのように考えているのか？

日本の主食であるおコメは日本の伝統文化を培ってきた、紛れもなく日本文化そのものです。それを破壊してしまうTPPへの参加に反対しない人を保守派などと呼ぶことは出来ないでしょう。日本の自然を破壊してしまうようなTPPへの参加を絶対に許してはならないし、断固反対していきます。

さて、本日はリンゴの収穫を原発災害被害者の会のメンバーの助けを借りて行ないます。残されたリンゴを本日本全で収穫する予定です。夕方には贈答用、家庭用の受付を行ないます。今年もよろしく願い申し上げます。